2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート■基本情報について教えてください。

学校名[木津川市立木津中学校] 担当教諭[宮原 麻美] 児童生徒の学年・クラス・参加人数:[45名] 1年 ~ 3年 5月 ~ 実施期間: 2009年 5月 2010年 交流:無 · 有 国名[インドネシア] 学校名[YPJ Schools in Tembagapura] 学年[7~11?] 担当教諭[Sudibyo, Leonardus 他] 単元名 教科 時数 実施教科•時数 部活動 カウントしていません アートマイルに関連した時間 が、かなりの時数で すべて(総合は外国語活 す。 動、環境など中身がわかる よう)。必要に応じて行を追 加してください。

■作品について教えてください。

題(テーマ)	Peace 平和
絵に込めたメッセージ	木津中学校の美術部の生徒たちにとっては、自分たちの日常生活や身近な自然、文化を見つめ直し、大切にしていくことが「Peace 平和」につながるのではないかということになり、それらを絵で表現しました。 日本の少女とインドネシアの少年が一つの苗木を持ち、これから育てていく事を暗示しています。バックの大きなハートのオレンジ色は、太陽をイメージしています。原画を担当した生徒はインドネシアの夕焼けのイメージを表現したそうです。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
	春	「平和」とは何か、みんなで考えた。最初	最初ワンパターンだった平和のイメージが、友	
		は「平和」のイメージを言葉で書いて表	だちの様々な絵の表現を見ることで、表現の幅	
		し、「平和」と「平和でない世界」の絵を各	が広がったようだ。	
導入		自が描いてそれぞれを鑑賞、交流した。	自分たちの住む地域の写真や情報集めを	
	夏	夏休み中に写真や資料を集めた。部誌	し、いいところは何か考えることは、地域を見直	
		のテーマを「木津のいいところ」にし、絵	すきっかけとなった。	
		や文章で各自が1ページ書いた。		
	秋	一人ひとりが相手国のインドネシアの文	インターネットや図書館の本等を使って、各自	
		化や自然、言語、風習等について調べ	が興味のあるインドネシアの事を調べて発表し	
情報		学習をし、プレゼンをした。相手校が環	た。言語や食べ物、住居、子どもの遊び、動	
収集		境教育に熱心であることから環境問題に	物、植物等… 女子が多いためかファッション	
		ついても学んだ。自己紹介カードを作り、	に興味がある生徒も多かった。	
		イラストとメッセージを書いた。		

	その後各自が壁画のアイディアスケッチ	生徒たちの感覚で選んだので、今風のマンガ	
	を描いて持ち寄り、投票で数枚の絵にし	的な絵柄になった。(教師側は、国際交流でも	
	ぼり、それをもとに一枚の下絵を描き上	あり、本音ではもう少し絵画的な原案を採用し	
	げた。	たかったが、生徒たちの意向を尊重することに	
テーマ	結果的に、木津中学校美術部の生徒た	した。)生徒たちは作画を楽しみながらも、大	
	ちにとっては、自分たちの日常生活や身	きく拡大すると表現が難しくなり、苦労してい	
検討	近な自然、文化を見つめ直し、大切にし	<i>t</i> =.	
	ていくことが平和につながるのではない		
	かということになった。相手校が環境教		
	育に熱心であることから環境に関する題		
	材も取り入れた。		
	12月~冬休み中にかけて制作を行っ	時々生徒たちがやりたい方向と、担当教師の	
	た。新型インフルエンザによる学年閉鎖	意向がぶつかることもあった。このような大きな	
#u //-	の影響もあり、年内の完成を目指した	壁画制作は初めてなので完成までの見通しが	
制作	が、思いの外時間がかかり、3学期にず	持ちにくく、生徒たちの制作進度が停滞するこ	
	れこんでしまった。春休みにテレビ会議	ともあったが、なんとか完成までこぎつけた。記	
	を行った。	念写真の時は全員が満足そうだった。	
	インドネシアのスラバヤでの環境イベン	完成した壁画を見た感想文…「すごくうまくて	
	トでの展示を経て、5月初めに壁画が届	びっくりした」「言葉がなくても絵で気持ちが通じ	
	いた。クラブ内で鑑賞し、感想を書き、美	あえると思った」「お互いの国の特徴が出てい	
	術部ニュースで交流した。5月下旬の参	て、それでいて1つにまとまっていてすごくいい	
<u> </u>	観日&PTA 総会の日に校内に展示し	なと思った」「とっても上手くできていて嬉しかっ	
鑑賞	<i>t</i> =.	た」「すごかった。やっぱり全部できあがると迫	
		力がありました」」「感動した!」「1つ1つに心が	
		こもっていていいなーと思った」「楽しかった、イ	
		ンドネシアのみなさんありがとう!」「両校ともが	
		んばったと思う」	

■学習目標と成果はどうでしょうか?(「重視」には指導にあたって重視したものを1位~5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1~5で評価してください。)

(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	5.4.3.2	5.4.2.2.1	テレビ会議で積極的に関わろうとする生徒が思っ
コミエニケーション・スキル		5-4-3-2-1	た以上に多かった。
			インターネット等での調べ学習は行ったが、学校
情報活用能力(収集・発信)		5-4-3-2-1	のパソコンルームではセキュリティーの関係でフ
		ォーラムを使用することができず残念だった。	
	4		交流相手に興味を持ち、もっと関わりたいという
人間関係をつくる(交流相手・学級内)		5-4-3-2-1	希望があった。部内でも協力して制作を進めてい
			こうとしていた。
	1		一時期、自分勝手な行動の生徒が多く制作が停
協同作業をする力(役割・段取り)		5-4-3-2-1	滞したり、人間関係の難しい時があったが、壁画
			の完成やテレビ会議を目標に1つにまとまれた。
異文化の理解	3	5-4-3-2-1	今まであまり接することのなかったインドネシアの

			国や学校の情報をたくさん得られてよかった。
自文化の理解・自分を見つめる	2	5.4.3.2.1	充分に時間は取れなかったが、みんなで自分た
日文化の理解・日ガを兄 200名		5.4.3.7.1	ちの住む地域について再発見できた。
表現力	5	5-4-3-2-1	事前にポスターカラーで色塗りの練習をした。自
· 衣玩刀			分たちで技法や表現方法の工夫をし、交流した。
尚羽女 ù如士 z 亲‰		5-4-3-2-1	壁画を完成するのがやっとで、学習を追求すると
学習を追究する意欲			まではいかなかった。
<i> </i>		5-4-3-2-1	各自の感想文をニュースに載せて交流した。友だ
作品を鑑賞する力 			ちの感想を見て新たな印象を持てたようだ。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか?

成果	課題
あまり活躍の場が少ない部であり、こういったイベントへの	相手校から返事が途絶えたため、フォーラムでの交流はあ
参加は大いに刺激になったと思う。1つの大きな壁画の制作	まりできなかった。(Eメールでは担当の先生とやりとりでき
を通じて共同作業の難しさや達成感を味わえ、自信をもて	て理解が深まったと思う。) 相手校のテレビ会議の提案が
た。作品的にも、生徒たちらしさが良く出た、よい仕上がりに	急で、時間割等の調整ができず、対応が難しかった。(大ら
なったと思う。相手校ともテレビ会議等、よい交流が出来て	かなお国柄なのかもしれません)
よかった。	

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか?

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
生徒たちの頑張りを学校外にももっと知ってもらいたいと思	完成した壁画の展示を見た生徒たちや職員、保護者からは
ったが、良い事でもマスコミ等に関わるのはなるべく避けた	よい評価をいただいたが、展示が半日と短かったのが残念
いという管理職の意向があった。学校のホームページに活	だった。
動の様子を載せたかったが、一部の部だけ特別扱いできな	
いと言われ却下され、たいへん残念だった。	

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

情報機器に大変うとい担当でしたので、最初は E メールの書き方など超初歩的な段階から塩飽さんにはお世話になりました。途中何度も挫折しそうになりましたが、同じインドネシアの学校と交流した小島中学校の先生とお友達になれて、メールで励まし合って頑張れたのも嬉しい体験でした。3回行ったテレビ会議では、小さな事から大きな事まで塩飽さんにはたいへんお世話になり、本当に心強かったです。生徒たちはもちろん、担当自身も言葉に表せないほどいろいろな貴重な経験ができ、教師として、人間として視野が広がったと思います。自分自身の課題点も見え、次の機会には更に頑張りたいという思いを新たにしました。ありがとうございました。